

CASBEE広島における重点項目の環境配慮設計概要

CASBEE-広島 2014年版

※下表の空欄に環境配慮設計の概要をコメントしてください。

配慮項目	評価点	重み係数	内訳											
■1.「地球温暖化対策」の推進														
1.1 建物の熱負荷抑制														
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください	3.0	0.00	Q1 室内環境	2 温熱環境	2.1 室温制御	2 外皮性能								
	0.0	0.00												
	3.0	1.00	LRI エネルギー	1 建物の熱負荷抑制										
小計	3.0	0.03												
1.2 自然エネルギーの利用														
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください	2.0	1.00	LRI エネルギー	2 自然エネルギー利用										
小計	2.0	0.07												
1.3 設備システムの高効率化														
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。□ LED照明を採用。	4.3	1.00	LRI エネルギー	3 設備システムの高効率化										
小計	4.3	0.33												
1.4 設備システムの効率的運用														
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください	3.0	0.00	LRI エネルギー	4 効率的運用	4.1 モニタリング									
	3.0	0.00	LRI エネルギー	4 効率的運用	4.2 運用管理体制									
小計	0.0	0.00												
1.5 資源・マテリアル対策														
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。□ 極力節水型器具の採用をしています	3.0	0.10	LR2 資源・マテリアル	1 水資源保護	1.1 節水									
	3.0	0.11	LR2 資源・マテリアル	1 水資源保護	1.2 雨水利用・雑排水再利用	1 雨水利用システム導入の有無								
	3.0	0.05	LR2 資源・マテリアル	1 水資源保護	1.2 雨水利用・雑排水再利用	2 雜排水再利システム導入の有無								
	2.0	0.08	LR2 資源・マテリアル	2 非再生性資源の使用量削減	2.1 材料使用量の削減									
	3.0	0.15	LR2 資源・マテリアル	2 非再生性資源の使用量削減	2.2 既存建築躯体等の継続使用									
	3.0	0.15	LR2 資源・マテリアル	2 非再生性資源の使用量削減	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用									
	1.0	0.15	LR2 資源・マテリアル	2 非再生性資源の使用量削減	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用									
	2.0	0.08	LR2 資源・マテリアル	2 非再生性資源の使用量削減	2.5 持続可能な森林から産出された木材									
	3.0	0.15	LR2 資源・マテリアル	2 非再生性資源の使用量削減	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み									
小計	2.6	0.40												
1.6 ライフサイクルCO2排出率														
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。□ 可能な限りCO2を削減しています	4.2	1.00	LR3 敷地外環境	1 地球温暖化への配慮										
小計	4.2	0.17												
1.「地球温暖化対策」の推進の評価	3.4	0.64												
■2.「ヒートアイランド対策」の推進														
2.1 溫熱環境の向上														
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。	1.0	0.49	Q3 室外環境(敷地内)	1 生物環境の保全と創出										
	2.0	0.24	Q3 室外環境(敷地内)	3 地域性・アメニティへの配慮	3.2 敷地内温熱環境の向上									
	2.0	0.27	LR3 敷地外環境	2 地域環境への配慮	2.2 温熱環境悪化の改善									
	小計	1.5	0.96											
2.2 交通負荷抑制														
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。 狭い中離合や待機できるよう車路を計画した。	4.0	1.00	LR3 敷地外環境	2 地域環境への配慮	2.3 地域インフラへの負荷抑制	3 交通負荷抑制								
小計	4.0	0.04												
2.「ヒートアイランド対策」の推進の評価	1.6	0.21												
■3.「長寿命化対策」の推進														
3.1 耐用性の向上														
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。 劣化対策等級2以上としています	3.0	0.18	Q2 サービス性能	2 耐用性・信頼性	2.1 耐震・免震	1 耐震性								
	3.0	0.27	Q2 サービス性能	2 耐用性・信頼性	2.1 耐震・免震	2 免震・制振性能								
	4.0	0.11	Q2 サービス性能	2 耐用性・信頼性	2.2 部品・部材の耐用年数	1 躯体材料の耐用年数								
	3.0	0.11	Q2 サービス性能	2 耐用性・信頼性	2.2 部品・部材の耐用年数	2 外壁仕上げ材の補修必要間隔								
	3.0	0.05	Q2 サービス性能	2 耐用性・信頼性	2.2 部品・部材の耐用年数	3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔								
	3.0	0.05	Q2 サービス性能	2 耐用性・信頼性	2.2 部品・部材の耐用年数	4 空調換気ダクトの更新必要間隔								
	3.0	0.11	Q2 サービス性能	2 耐用性・信頼性	2.2 部品・部材の耐用年数	5 空調・給排水配管の更新必要間隔								
	3.0	0.11	Q2 サービス性能	2 耐用性・信頼性	2.2 部品・部材の耐用年数	6 主要設備機器の更新必要間隔								
	小計	3.1	0.35											
3.2 設備の更新性														
(コメント) ※設計の計画上段に配慮した事項を記載してください。	3.0	0.20	Q2 サービス性能	3 対応性・更新性	3.3 設備の更新性	1 空調配管の更新性								
	3.0	0.20	Q2 サービス性能	3 対応性・更新性	3.3 設備の更新性	2 給排水管の更新性								
	3.0	0.10	Q2 サービス性能	3 対応性・更新性	3.3 設備の更新性	3 電気配線の更新性								
	3.0	0.10	Q2 サービス性能	3 対応性・更新性	3.3 設備の更新性	4 通信配線の更新性								
	3.0	0.20	Q2 サービス性能	3 対応性・更新性	3.3 設備の更新性	5 設備機器の更新性								
	3.0	0.20	Q2 サービス性能	3 対応性・更新性	3.3 設備の更新性	6 バックアップスペースの確保								
	小計	3.0	0.65											
3.「長寿命化対策」の推進の平均点(上記2項目)	3.0	0.15												
■重点項目の総平均(上記3項目)														
		3.0												